

Break Through

茨城県工業技術研究会だより

2014年3月 Nb21

目次

- P.1 第39回通常総会・特別講演会開催
- P.2 経済講演会「次代を拓く-若手経営者・後継者が語る事業承継」ほか
- P.3 各技術部会の活動 機械技術部会
- P.4 電子応用技術部会 材料・表面技術部会
- P.5 交流企画部会
- P.6 DVDご利用のお知らせ

—第39回通常総会・特別講演会開催—

茨城県工業技術研究会の第39回通常総会が、平成25年6月26日、ホテルレイクビュー水戸において開催されました。また、総会とあわせて「私の経営理念と当社の極限の技術に挑んだ歴史」と題した特別講演会を開催し、多摩川精機株式会社 代表取締役会長の萩本博幸氏よりご講演を頂き、約80名の方が参加されました。

1) 第39回通常総会

- ・平成24年度事業・決算・監査報告案および平成25年度事業計画、予算案が原案通り承認されました。
- ・平成24年度会員表彰が行われました。各企業からのご推薦により、4企業の個人・グループの方が表彰され、各受賞者より受賞のスピーチしていただきました。

会員表彰受賞の方々

○製造生産プロセス・製品技術開発部門

- ・株式会社 丸木屋製作所 中田 有哉 様
「独自のO-リングポート加工技術開発及び寸法測定具の考案」
- ・平沼産業 株式会社 生産改革プロジェクトチーム 様
「多品種少量製品製造のリードタイムを大幅に短縮した独自の生産体制の構築」
- ・株式会社アート科学 特殊成型体製造グループ 様
「リチウム化合物等成型体の安定した生産プロセスの開発」

○ものづくり現場を支える高度技能部門

- ・株式会社ヨシダ 大槻 正広 様
「高精度な受注品に対応できる優れた加工技術により、多年にわたり企業のモノづくりと後進育成とに貢献」



2) 特別講演会

演題：「私の経営理念と当社の極限の技術に挑んだ歴史」

講師：多摩川精機株式会社

代表取締役会長 萩本 博幸 氏

内容：人工衛星の角度制御装置などの分野において、高い技術とシェアを誇る多摩川精機株式会社。生産拠点の海外移転が進む中であって、「地域密着・地域振興」を掲げ、人材育成に力を入れてきたその経営理念と、培ってきた技術の歴史等とについてご講演いただきました。

(茨城県産業施策等の紹介)

- ・ものづくり補助金の紹介について
- ・MTEP海外展開技術支援について ほか



Break Through

会員企業の皆様への情報提供などを目的に、茨城産業人クラブなど県内経済団体等と共催により講演会、パネルディスカッションを開催しました。

●経済講演会「次代を拓く―若手経営者・後継者が語る事業承継」

(主催：茨城産業人クラブ／茨城県／茨城県中小企業振興公社／日刊工業新聞社／茨城県工業技術研究会)

- ・実施日：平成 25 年 5 月 14 日 (火)
- ・参加者：150 名
- ・内 容：

茨城県内の中小企業の若手経営者・後継者の方々にお集まりいただき、事業承継の捉え方や、新しい時代を勝ち抜くための方策について、パネルディスカッション形式でお話いただきました。

講 師：

株式会社アンテックス

代表取締役社長 安藤 洋平 氏

瑞井精工株式会社

代表取締役社長 井上 雅弘 氏

水戸精工株式会社

専務取締役 舘 裕一 氏

沼尻産業株式会社

代表取締役社長 沼尻 年正 氏

コーディネーター

つくば市理事 産業振興担当 森 和男 氏



●経済講討論会「工場長サミット―変わる茨城のモノづくり」

(主催：茨城産業人クラブ／茨城県／茨城県中小企業振興公社／日刊工業新聞社／茨城県工業技術研究会)

- ・実施日：平成 25 年 11 月 11 日 (月)
- ・参加者：130 名
- ・内 容：

県内大手企業の工場長や経営層の方々をパネラーに迎え、変化する茨城のモノづくりという観点から、10年後、20年後のモノづくりのありかた、必要な人材像などについて、論じていただきました。

パネラー：

株式会社日立製作所インフラシステムズ

機械システム事業部

土浦事業所長 幸田 暁 氏

株式会社 東京電機

代表取締役社長 塩谷 智彦 氏

株式会社 日立オートモティブシステムズ

常務取締役 パワートレイン&電子

事業部長 関 秀明 氏

モデレーター：

経済産業省関東経済産業局

地域経済部長 野口 聡 氏



Break Through

一各技術部会の活動一

各技術部会の今年度の活動状況をお知らせします。

《機械技術部会》

●「3Dプリンターセミナー」

- ・実施日：第1回平成25年7月25日（木）
「3Dプリンター紹介セミナー」
丸紅情報システムズ株式会社 遠藤 直己 氏
株式会社ベテル 田山 浩樹 氏
- ：第2回平成25年10月8日（火）
「3Dプリンター・3Dスキャナ実演セミナー」
日本バイナリー株式会社 吉水 瑞晴 氏
- ：第3回平成25年12月18日（水）
「金属用3Dプリンター実演セミナー」
松浦機械製作所

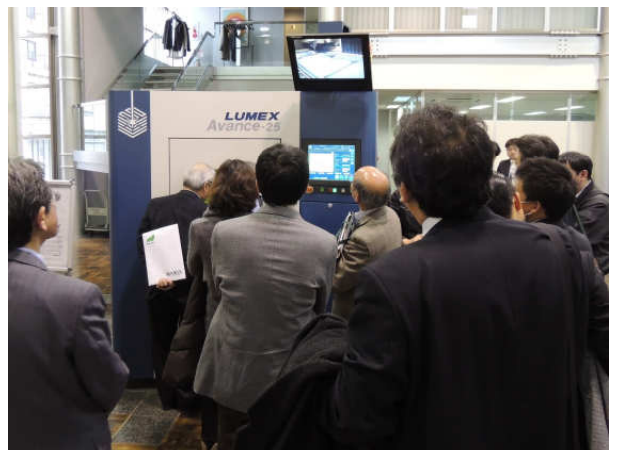
・参加者：延べ153名

・内 容：

昨今、廉価な3Dプリンターが個人でも導入可能なレベルとなり、各種メディアでも取り上げられ非常に注目を浴びています。しかし、工業用途として利用する場合には、寸法精度や材料（種類やコスト）の問題が発生することが想定されます。

そこで、今年度3回にわたり3Dプリンターについてのセミナーを開催し、その種類や造形方式の紹介をはじめ、業界全体の動向や実際に使用している企業の所感をうかがったほか、実機によるデモを交えた操作方法などについて学びました。

また、12月には、複雑形状の金型製造等への活用が期待される金属用3Dプリンターの実演デモを開催し、参加者の皆様方には3Dプリンターの現状等について知見を深めていただきました。



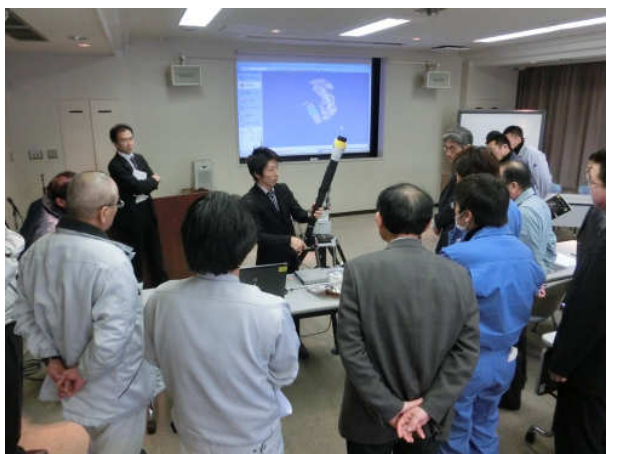
●「形状計測セミナー」

- ・実施日：平成26年3月12日（水）
- ・参加者：13名
- ・講 師：(独)産業技術総合研究所 阿部 誠 氏
株式会社ニコン 岡本 裕昭 氏
株式会社ニコンインステック 阿萬 崇 氏

・内 容：

近年、製品の高性能、高機能化にともない需要が高まっている非接触方式の形状計測について、規格化の動向や、特徴について学びました。また実演では、多関節型非接触測定機を使い、参加者の皆様を持ち込んだサンプルの測定デモを通じて、測定方法や操作のコツについてアドバイスをいただきました。

セミナーを通じて、規格の大切さや非接触測定による形状計測の有用性を理解していただきました。



Break Through

《電子応用技術部会》

●「コントローラ（プログラマブルロジックコントローラ）体験セミナー」

- ・実施日：平成26年1月21日（火）
- ・参加者：9名
- ・講師：オムロン株式会社 鳥取 輝美 氏
三木 信史 氏
- ・内容：
生産現場において、工程の自動制御に多く使用されるプログラマブルロジックコントローラ(PLC)とタッチパネルを使用した体験セミナーを行いました。セミナーでは、PLCでの開発方法の基礎から、自動化の実践的な例題演習までの実習を行い、操作のボタンや、表示メーターなどを自由にデザインできるタッチパネルの作成方法について学びました。コンベア搬送・検査工程等のミニチュア機材の使用など実習を交えた説明により皆様には十分に知見を深めていただくことができました。



●「会員企業見学会及び交流会」

- ・実施日：平成26年1月28日（火）
- ・参加者：20名
- ・内容：
今年度は、東日本大震災をきっかけに社屋の建替え工事をされたコロナ電気株式会社様の見学をさせて頂きました。工場でありながら、非常に開放的かつ斬新な造りで、内装材に竹を用いるなど随所に設計者のこだわりが感じられる建物でした。社員のモチベーション向上や部門間交流の活発化等、柳生社長の社屋建替えによる働きやすい環境づくりの取り組みは、職場に様々な効果をもたらしていることが分かりました。社員が前向きになれる明るい職場づくりを進めていく上で、非常に参考となる見学会でした。



《材料・表面技術部会》

●「めっき液管理の実習セミナー」

- ・実施日：平成25年7月19日（金）
- ・参加者：19名
- ・講師：有限会社 カシムラ工業所 鹿志村 高道 氏
株式会社 クロス 石浜 貞夫 氏
双葉メッキ工業 株式会社 矢澤 啓次 氏
株式会社 山本鍍金試験機 秋山 勝徳 氏
- ・内容：
めっき液の管理技術修得を目的に、めっき液管理に関する講義と、分析の基礎となる滴定分析及び液の状態を確認のためのハルセル試験の実習を行いました。
不調めっき液や、めっきの品質を低下させる金属イオンを含む液についても滴定分析とハルセル試験を行うことで、参加者にはめっき液の正常・異常の状態を体験して頂き、分析の必要性の理解を深めていただきました。



Break Through

●「海外輸出技術支援・機器紹介セミナー」

- ・実施日：平成25年12月5日（木）
- ・参加者：32名
- ・講師：講演1
「CEマーク等海外技術規格と品質管理等について」
株式会社 日立ハイテクマニファクチャ&サービス 松尾 渉 氏
- 講演2
「海外規格取得を支援する広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)の紹介」
地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 西野 義典 氏

・内 容：

講演1では、欧州規格であるCEマークを中心に、海外技術規格の種類や内容、取得までのプロセス等についてご講演をいただき、参加者からは、CEマーク取得までの期間や費用等活発な質問がありました。

講演2では(地独)東京都立産業技術研究センターよりMTEPのセンター長である西野氏を講師に迎え、MTEPの取組と、海外規格取得にあたっての入口部分にあたる情報提供、支援の在り方等についてご講演をいただき、参加者からは海外規格の動向などについて質問がありました。

また、講演後は工業技術センターの海外展開支援に係る取組みの説明を受け、海外規格に対応した評価試験機器7機種を見学しました。



《交流企画部会》

●「茨城大学工学部研究室訪問交流会」

- ・実施日：平成25年10月2日（水）
- ・参加者：約80名（会員18名）
- ・内 容：
講演会では、茨城大学工学部の米倉工学部長より、工学部の教育研究についてご紹介いただいた後、「環境・防災センシンググリッド構築に向けたスマートインフラシステム」、「相変態を利用したバルク熱電材料のナノ構造化」についてご説明いただきました。
研究室訪問では、4つの工学部附属教育研究センター（ライフサポート、塑性加工科学、グリーンデバイス、防災セキュリティ技術）の各研究室や、若手研究者の研究室を訪問し、研究成果等をご紹介いただきました。
最後に懇親会が開催され、各支援機関等を交えて、活発な意見交換が行われました。



Break Through

●「県内企業見学会」

- ・実施日：平成26年3月18日（火）
- ・参加者：10名
- ・内容：

洋白、りん青銅、特殊銅合金（板、条、線、棒、鋳物）の製造・販売をしている清峰金属工業株式会社様を見学させていただきました。

同社が創りだす製品は、さまざまなニーズに応える最新のエレクトロニクス機器に利用されている銅合金です。私たちの暮らしの中で、さまざまな家電製品や自動車にその技術が生きています。

今回、見学・意見交換を通して、加工、組立などで取り扱っている材料の生産工程や、市場動向などの知見を深めることができました。



DVD・ビデオをご利用ください

工業技術研究会では、ものづくりに関わる加工技術や品質管理技術等の教育用DVD・ビデオを所有しており、会員の皆様に無料で貸し出しを行っております。教育用のテキストも添付されておりますので、今後の企業活動に是非ご活用ください。貸し出しをご希望の方は、事務局までご連絡をお願いいたします。

●DVD

- ・「生産管理 実践品質管理講座」全5巻
- ・「経営 ものづくり現場の基本」全5巻
- ・「生産管理 工程ばらしのノウハウ」全4巻
- ・ものづくり日本の未来を担う「茨城の若き挑戦者たち」



など

●ビデオ

- ・金属の知識 全2巻
- ・電気の知識 全3巻
- ・切削加工技術 全3巻
- ・PL 戦略ビデオシリーズ 全4巻
- ・メカトロニクスの知識 全4巻
- ・ISO9000 の実際 など



発行：茨城県工業技術研究会

■事務局

〒311-3195 東茨城郡茨城町長岡 3781-1
茨城県工業技術センター内

TEL 029-293-7213 FAX 029-293-8029

■入会手続

- 年会費 10,000円
- 入会方法 事務局にご連絡ください。
- ホームページアドレス
<http://www.ibaraki-tec.com/>